

問

代表・一般質問を平成19年12月3日、4日、5日に開会した第4回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行に当たる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

未来を担う子どもたちに誇れる足立区の構築を！



自由民主党
渡辺 ひであき 議員



国が展開する東京富裕論は、どこが間違っているのか
 【問】都はいち早く「財政力格差是正論」への反論を打ち出している。国が展開する東京富裕論は、どこが間違っているのか。
 【区長】この問題は、特別区長会を通じて国に反論している。地方税収額に地方交付税額及び国庫支出金等を合計した財源を、人口で割り返した場合、東京都は22位に過ぎない。また、地方交付税の算定も、都と23区を合算する等、特殊な方式で行われている。
 さらに、大都市特有の膨大な財政需要が的確に反映されておらず、妥当性を欠いている。区民の健康づくりの場としての公園整備は、今後需要が

見込まれると思うがどうか。
 【土木】2カ所の重点健康広場の整備を検討している。第一号は平成20年度に花畑公園に、続いて総合スポーツセンターで展開し、ジョギングコースの設置等、多くの区民が公園で健康づくりができるように努めていく。元洲江公園のイメージアップが必要ではないか
 【問】生物園では、「光の祭典」に合わせて、「冬のホタルの鑑賞会」を実施し、「年間パスポート」を発行すると聞く。
 しかし、元洲江公園は、トイレ等の老朽化が進んでおり、イメージアップが必要ではないか。
 【土木】開園から30年以上が経過しているため、今年度から計画的に改修を進めていく。区立小・中学校の食品廃棄物のリサイクル処理の手法と効果は？
 【問】千住・舎人地区で行っている、食品廃棄物の堆肥化事業の手法と効果について伺う。
 また、この事業は子供たちの食育にも大きく寄与するので、拡大していく考えはないか。
 さらに、食品リサイクルと循環型社会のモデル事業を行う



考えはないか。

【環境】千住地区の区立小・中学校9校では、給食の食品廃棄物を、委託企業のコンポスト化施設で堆肥化し肥料として区内農家で使用している。
 舎人地区の古千谷小学校では、学校設置の生ごみ処理機で乾燥処理後、堆肥化し、農家に提供するシステムを構築している。
 この事業の効果は、生ごみの減量化とともに、有機肥料の学校農園への利用等で、児童の環境教育、食育に貢献している。
 食品リサイクル事業は、学校側の負担も生じるため、調整のうえ拡大していく。
 【教育指導】モデル事業については、千住地区の小学校9校や、古千谷小学校の事例を参考に検討していく。
 【問】舎人公園内の野球場をスタンド付野球場に改修すると聞いたが、どのようなものか。
 【教育事業】成人野球にも対応できる本格的な野球場建設の方針を庁内で決定した。
 都立舎人公園内の野球場を改修して建設する方向で、都に要望している。
 中学校の放課後学習環境整備事業をどのように進めるのか
 【問】平成20年度行財政運営方針で、「中学校放課後学習環境整備」が、重点的に取り組む事業として位置づけられた。どのように進めるのか。
 【教育次長】放課後、生徒は、様々な部活動や生徒活動を行っているが、毎日、全ての生徒が参加しているわけではない。そこで、生徒が自分のスケジュールに合わせて、授業の予習や復習ができるように、学校図書室を開館していく。
 また、非常勤の司書の配置等学校図書室の機能の充実と、学習参考書をはじめ蔵書の拡充等、学習環境を整備していく。
 平成20年度は、8校程度をモデル校とし、その後、順次拡大して全校で実施していきたい。
 公費負担による妊婦健診の先行実施の内容はどのようなものか
 【問】平成20年度から都全体で妊婦健康診査公費負担が、2回から5回以上に引き上げられる。区は先行して実施すると聞いたが、内容はどのようなものか。
 【衛生】1月より3ヶ月間を予定している。1回にかかる費用5千円相当の3回分に当たる、総額1万5千円を区内共通商品券により、健康推進課及び各保健総合センター等の窓口にて助成していく。
 子育て支援をどのように平準化するのか
 【問】子育て支援に対するニーズも多種多様であり、それぞれの支援も平準化されていない。今後、どのようにしていくのか。
 【子育て】認可保育園と比較して認証保育所等認可外保育施設の保護者負担が大きい。また、保育施設を利用する保

護者に比較して、家庭内で子育てする保護者への支援策が少ないといわれてきた。
 そのため、認可保育園保育料の見直しをする一方、家庭内で子育てしている保護者のための支援策を充実してきた。
 今後とも、子育て支援策のバランスをよりよいものにしていくため、継続して努力していく。

東西にかけて区の中央を通る258号線と綾瀬川に架ける橋の早期建設を！



自由民主党
鹿浜 清 議員

都市計画道路補助258号線の一刻も早い全線開通を
 【問】都市計画道路補助258号線の一刻も早い開通を待ち望む区民のために、区の最高責任者である区長が、交渉に当たって解決すべきと考えるがどうか。
 【区長】全線開通には、区が綾瀬川架橋の事業認可を早期に取得し、事業を計画どおりに進めるとともに、六町区画整理事業区域内の補助258号線の早期着工が必要不可欠である。
 私はこの実現のために、都に対し強く働きかけ、全力を挙げて取り組むことを約束する。
 【問】綾瀬川架橋の事業認可手続きを早急に進める必要があるが、今までの経緯と橋の建設に当たっての決意を伺う。
 【土木】綾瀬川架橋は、基本設計と事業認可手続きに向けた作業を行っており、年度内には事業認可取得の予定である。
 橋梁本体の完成は、平成23年の早期を目指している。
 【土木】都市計画道路の整備にあたっては、平成15年以降、新たに事業認可を取得したもののから電線の地中化を実施している。
 また、並木の樹種は、まちづくり協議会等の意見も踏まえて決定するとともに、可能な限り緑を増やし環境にも配慮したみちづくりを進めていく。

